

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第43回（平成30年度第4回）理事会議事録

日 時：平成30年11月13日（火） 16：00～18：00

場 所：みやこめっせ 第4会場 B1F 大会議室
京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

出席者：細井 創（理事長・第60回学術集会会長）

真部 淳（副理事長）

足立壯一、天野功二、井上 健、今泉益栄、大植孝治、小野 滋、上條岳彦、
上別府圭子、木下義晶、康 勝好、西川 亮、副島俊典、滝田順子、松本公一、
盛武 浩、米田光宏（以上理事）

菊田 敦（監事・第62回学術集会会長）、越永従道（監事）

檜山英三（第61回学術集会会長）

議 長：細井理事長

冒頭に、本日の理事出席者数は18名中18名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認した。議長より、第60回学術集会開催に関する挨拶がなされた後、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回理事会議事録（案）の確認

議長より、前回議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

松本庶務・財務委員長より、資料をもとに、入会申請者14名が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

2. 会員資格継続要望の件

松本庶務・財務委員長より、資料をもとに、会員資格継続要望者1名が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

3. WHOの小児がん対策強化に関して

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、活動内容を会員に周知したことが報告された後、今後の対応について討議がなされ、国際委員会にて対応することとなった。

4. PCR-MRD検査施設認定に関する料金設定、並びに手順とHP文書の改訂について

今泉保険診療委員長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされた後、以下の認定料案が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

認定料案

保険医療機関以外の衛生検査所（企業など）が申請する場合は、認定検定料 40 万円、および更新検定料 15 万円。

保険医療機関が申請する場合は、上記検定料から人件費分を減じ、認定検定料 31 万円、および更新検定料 11 万円。

※それぞれの検定料には学会事務経費 2 万円を含む。

5. 静注用ブスルファン 1 日 1 回法の使用実態調査について

今泉保険診療委員長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされた後、保険診療委員会にて調査を行うことが提案され、議場にその承認が求められたところ、造血細胞移植学会と共同で申請すべきとの意見があり、調査は学会で行うが、申請時には関連団体と共同で申請するよう進めることとして承認された。

6. 臨床研究法施行下における小児がん臨床研究についての要望書について

議長より、標記事項について、要望書（案）が示され、JCCG と共同で医政局研究開発振興課長へ提出することについて、議場に意見が求められたところ、以下の意見開陳および討議がなされた。

- ・「保険適応外の医薬品」の記載は不適切ではないか。
- ・本要望書提出により、不利益を被るものが出ないか検討すべきである。
- ・小児疾患の臨床研究のさらなる発展のために本要望書は必要である。
- ・未承認又は適応外薬をリストアップしてはどうか。

討議の結果、JCCG と合同WGを組織し、継続的に協議することとなった。

7. 第 5 回専門医試験結果について

滝田専門医制度委員長より、資料をもとに、第 5 回専門医試験結果が示され、その説明がなされた後、議場に承認が求められたところ、以下の意見開陳及び討議がなされた。

- ・正答率 100%の問題は、必ず正答しなければいけない必須問題としてはどうか。
- ・正答率 100%の問題は、専門医機構等の第三者から不適切と判断される恐れがある。
- ・専門医機構への対応は、拙速に進めるのではなく、専門医機構からの指示の都度行うようにすべきである。

討議の結果、試験内容、合格率、専門医機構への対応については引き続き専門医制度委員会で検討していくこととして、本試験結果は原案どおり承認された。

8. 常勤の定義に関して

滝田専門医制度委員長より、資料をもとに、標記事項について説明がなされ、専門医制度規則第 13 章 小児血液・がん専門医研修施設の認定要件 第 40 条（専門医研修施設の要件）の補遺として、「常勤医とは雇用形態としての常勤だけでなく実質的に働いている小児科医（例えば非常勤であっても同一人が週 4 日以上、全日働いている）もの」を加えることが提案され、議場にその承認が求められたところ、文言を整えて、後日持ち回り審議をすることとなった。

9. 社員総会の進行手順ご確認の件

議長より、標記事項について、資料をもとに説明があり、確認がなされた。

10. 今後のアジアンセッションについて

康国際委員長より、アジア交流奨学日本基金の残額が 204,827 円となったことが報告され、今後のアジアンセッション（招聘者 4 名×奨学金 20 万円）及び日韓シンポジウム（招聘者 2 名×奨学金 10 万円）の開催について、議場に意見が求められ、議場にて以下の意見開陳および討議がなされた。

- ・日韓シンポジウムは KSPHO との調印式を経たものであり、学会事業として継続すべきである。
- ・継続可否判定にはアジアンセッションの評価資料作成が必要ではないか。
- ・学会の財源では継続困難と考えられる。
- ・アジアンセッションとは別に、個々で応募された外国からの演題登録者にトラベルアワードを支給する新たな制度を設けてはどうか。

討議の結果、アジアンセッションは第 60 回学術集会をもって終了とし、日韓シンポジウムは今後も継続することとなった。

11. 学会誌編集委員会報告

井上学会誌編集委員長より、編集協力費 3,000 円の適用開始時期について、来年度掲載論文から適用することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

12. 学術集会運営事務局の 3 年契約について

檜山次期会長より、株式会社コンベンション・リンケージへの本会学術集会運営事務局委託について、第 61 回（2019 年）、第 62 回（2020 年）、第 63 回（2021 年）の 3 年間連続契約を結ぶことが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

松本庶務・財務委員長より、現在の会員状況について、資料をもとに報告がなされた。

2. 学術集会プログラム委員会報告

米田学術集会プログラム委員長より、資料をもとに、第 60 回学術集会のプログラムについて、報告がなされた。

3. 研究審査委員会報告

上條研究審査委員長より、資料をもとに、研究審査状況が報告された。

4. 保険診療委員会

今泉保険診療委員長より、資料をもとに、活動報告がなされた。

5. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会

檜山次期会長より、準備状況について、以下の報告がなされた。

- ・日時：2021年11月14日～16日
- ・場所：広島コンベンションホール
- ・患者およびその家族について、事前登録をすれば無料参加可能とする。

6. 第62回日本小児血液・がん学会学術集会

菊田次々期会長より、準備状況について、以下の報告がなされた。

- ・日時：2020年11月20日～22日
- ・場所：郡山市ビッグパレット

7. 「小児がんのための薬剤を考える」後援について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされた後、後援を承諾したことが報告された。

8. 第122回日本小児科学会学術集会分野別シンポジウムについて

滝田理事より、標記事項について、資料をもとに企画概要の説明がなされた。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。